

深掘りで新商品開発

シャボニ宇宙編拡充して販売強化

シャボニ宇宙編「宇宙編」は、8月3日、東京・台東区の共和フォーラムで、「Study with Entertainment」の新しい生活をテーマに、「ショウワノート2022秋冬コレクション」を5年振りに開催した。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、社員のコロナ抗原検査、会場の感染対策を徹底して開催した。

初日、午前9時から記者発表会を行い、まず、片岸茂会長が7月1日付で、中越ハルフ工業の子会社、文運堂文具事業部の「ショウワノート」を継承したと発表し、中越ハルフ工業の代表取締役社長に就任したと、役員と職務を説明した。

続いて、中条社長は業績の概況と7月からスタートした新年度の方針について「前期はコロナの影響や昨年からの一昨年に比べて業績に貢献した鬼滅の刃が、厳しい内容となったこともあり、厳しい内容となった。今期は主力商品の学習帳に最大限注力し、攻めの姿勢を転じていく。学習帳の拡販を成功させるためには、商品開発の考え方や現状を再認識する必要がある。コロナ禍で進むギガスクール構想、谷口晴久は文運堂代表取締役社長に就任し、社外取締役は中島清雅、監査役に藤原敬、金田栄悟、執行役員に林義典(営業)、副本部長、顧問に川崎八寿雄、森川卓也、金野博幸がそれぞれ就任。文運堂は、代表取締役社長に谷口晴久、営業取締役に水鉦富雄、取締役に文運堂の飯田邦治、監査役に川崎八寿雄、執行役員にショウワノートの商品開発で実績を上げていく平田芳樹、文運堂社長の飯田康夫氏は顧問に就任した」と、役員と職務を説明した。



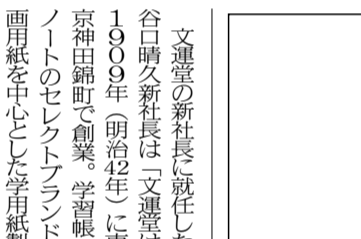
ショウワノートの役員陣



文運堂の役員陣

谷口晴久は「ショウワノートのM&Aは共同の取り組みで学習帳略を加速させることと、高岡工場を生産効率を上げるのが狙い」と話し、文運堂の役員体制について「ショウワノートホールディングスは代表取締役社長に片岸茂、代表取締役社長に中条宏志、取締役谷口晴久、取締役飯田邦治、監査役に川崎八寿雄、執行役員にショウワノートの商品開発で実績を上げていく平田芳樹、文運堂社長の飯田康夫氏は顧問に就任した」と、役員と職務を説明した。

谷口晴久は「ショウワノートのM&Aは共同の取り組みで学習帳略を加速させることと、高岡工場を生産効率を上げるのが狙い」と話し、文運堂の役員体制について「ショウワノートホールディングスは代表取締役社長に片岸茂、代表取締役社長に中条宏志、取締役谷口晴久、取締役飯田邦治、監査役に川崎八寿雄、執行役員にショウワノートの商品開発で実績を上げていく平田芳樹、文運堂社長の飯田康夫氏は顧問に就任した」と、役員と職務を説明した。



文運堂の新社長に就任した谷口晴久新社長は「文運堂は1909年(明治42年)に東京神田錦町で創業。学習帳・ノートのセレクトブランド、画用紙を中心とした学用紙製品の「コッカブランド」を展開している。東海や北関東、九州の限定エリアで強いシェアを持つ文運堂の学習帳を、ショウワノートの流通に乗せて全国展開を図ると共に、厳しい学習帳市場の中で、シャボニ力学習帳との差別化を図った流通、商品戦略で両社のシナジーを生み出していきたい。役員、社員を合わせて32人、事業規模は10億円。将来的にはキャラクター商品も扱い、業界で必要とされる企業に育てていきたい」と今後の方針を語った。【展示会の内容は次号詳報】

【新役員】
代表取締役社長 谷口晴久(全社・企画)
常務取締役 水鉦富雄(開発・生産)
取締役 飯田邦治(営業本部)
監査役 川崎八寿雄
執行役員 平田芳樹(特許・OEM)
なお、代表取締役飯田康夫氏は退任、相談役に就任した。

【CAN社長に中尾彩乃氏就任】
株式会社シー・エー・エヌシステムは、新社長に中尾彩乃氏の就任を発表した。前社長の谷口泰明氏は基幹業務システム開発部長に就任した。

【訂正】7月25日付、第2446号クワの掲載記事の見出し「ミット」に「ミット」に誤りです。8月5日付、第2447号ココの掲載記事の見出しは、正しくは「中国市場の拡大目指す」です。

商品説明会や展示会

エコー3年振りに学納懇談会

エコーマインド株式会社(村田和俊社長、大阪府)は、コーラス株式会社(今泉壮平社長、東京都)と、べんてる株式会社(高橋智和社長、東京都)の共催により、7月27日、天満橋の大坂キャッスルホテルで、学校納品業者向けの展示会「エコー学納懇談会2022」を3年振りに開催。学納店110人が来場した。



挨拶する村田社長

懇談会は、第一部商品説明、第二部商品展示、第三部懇親会のプログラム構成で進行。商品説明に先立ち、村田社長は「学校のICT環境整備が進み、オンライン学習が普及するなか、学校教育も大きく様変わりしている。コロナ禍でギガスクール構想が前面に押し出され、タブレット・パソコンの導入も早まった。然しながら教育のデジタル化により子どもたちの学力が向上



熱心に情報交換する学納店

したという話は聞かない。ノートと鉛筆を使い、文字や絵を描くことで脳により多くの刺激を与えることができる。この後の展示会で子どもたちがの教育や教育現場での業務効率に役立つ文具を中心に紹介している。コロナの急拡大で、地方からの参加が減少し、来場者数はコロナ前と比べて若干少ないが、来て良かったと思える一日とした」と挨拶。

続いて、べんてる・高垣克己執行役員国内営業本部長が

「今年からが本場の意味でのウイスコロナの始まり。コロナ禍の3年間に電子化が一気に進んだ。学校はタブレット学習、リモート授業など、今までは教育環境がガラリと変わった。ICT教育を進めたいという声が生じている。環境に対応していきたい。今期はショウワノートと、文運堂とのツートランドで、学習帳をメインとした市場に新しい風を吹き込んでいく。子どもたちが楽しく学ぶツールを提供することも、手書きのノートの良さを訴求したい」と説明。

匠の技 ステンレス製 高級つめきり

ワンタッチで開閉する開口部

使いやすいとデザイン性を追求した無敵のなつめきり

テコ表面中央部分 超微粒ヤスリ付き

美しい暮らしを創る鉄器利習物

グリーンベル

http://www.greenbell.net/

「ナカバヤシ大阪営業課リーダー・藤原大河氏、「ソニック」の商品開発について「ソニック営業課西日本エリア、早川達也氏の4つのプログラムで進行した。

第二部の商品展示では、展示会場に20社が出展、学校の授業や教育現場で役立つ教材を豊富に紹介した。エコーマインドは学納店からの提案を受けて商品化を検討している「アスカバー」の試作品を展示してヒアリングやアンケートを実施。オリジナル教材のコーナーでは、忍野アイルやGタッチペンなど、学校向けの売れ筋商品を中心に紹介した。懇親会は感染対策を徹底した上で、着席形式で開催。開宴に先立ち、コーラス・集谷副社長が「コロナが再び急拡

大しているが、逆風との時こそ上昇のチャンスともなる。コロナで消えた需要もあるが、生まれた需要もある。逆風を見出ししていきたい」と開宴の辞を述べ、和気藹々とした雰囲気の中で、懇親を深めた。

世界初! 水性顔料サインペン PIGMA ビグマ

用途に合わせて選べるペン先

ビグマ各種 小売価格 ¥220 (本体価格 ¥200)

ビグマ03 細かいところに 手帳・ノートに書く

ビグマ1 はっきり見やすく メモに書く

ビグマFINE とめ・はね・はらいて英文字に ハガキに書く

株式会社 サクラクレパス https://www.craypas.co.jp